

1. 会議計画

主要な会議である総会、諮問会、理事会、運営審議会および賞選考関連会議は以下のとおりとする。

1.1 総会

第54回定時社員総会を2026年5月29日(金)に大阪で開催する。主要な議案は、2025年度事業報告と決算報告、2026年度事業計画と事業予算である。

1.2 諮問会

第15回諮問会を2026年4月23日にパシフィコ横浜にて開催する。諮問会では上記総会に提出する議案について報告し、幅広く諮問員に意見を伺う。

1.3 理事会および運営審議会

理事会を3回(第132,133,134回)、運営審議会を2回(第39,40回)開催し、総会および諮問会への提出議案の作成、各事業の充実、財政基盤の強化等について審議する。

1.4 賞選考委員会

第31回賞選考委員会を第132回理事会開催前に開催する。賞選考委員会において第50回レーザー学会業績賞(論文賞、進歩賞)及び奨励賞を審議する。学術講演会第46回年次大会の論文発表賞については年次大会実行委員会が選考を行い、結果を賞選考委員会に報告する。賞選考委員会は選考結果を第132回理事会に報告する。

また、第19回産業賞選考委員会を開催し、優秀賞、奨励賞及び貢献賞につき審議する。第47回年次大会の論文発表賞の受賞通知を2027年2月末に実施する。

2. 事業、行事計画

実施する事業、行事計画は以下のとおりとする。

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年12冊(第54巻4～12号および第55巻1～3号)、毎月中旬に発行する。このため、編集委員会を12回(第553～564回)開催し、企画編集、進捗フォロー、次号ゲラ刷りのチェック等を実施する。開催日は毎月中旬とし、原則として東京と大阪で交互に開催する。

CLEO2026等各種国際会議に参加する会員からの情報収集により、レーザー技術および関連技術に関する海外調査を実施し、その結果を会誌「レーザー研究」に掲載する。

2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を4回(第270～273回)、研究会を11回(第609～619回)開催する。研究会については単独開催研究会を10回、他学会との共催研究会を1回開催する。単独開催の研究会では資料「研究会報告」を作成し、研究会当日に参加者に販売するとともに、年間購入予約者に頒布する。

2.3 技術専門委員会

技術専門委員会を14件(継続11件、新規3件)実施する。学会HP上に各委員会の設立・継続にあたっての目的を明らかにし、賛同者を募り学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努める。

2.4 総務委員会

総務委員会を7回(第284～290回)開催し、学会の会員状況、会計状況、事業計画の進捗状況を確認する。

2.5 事業委員会

事業委員会を1回開催し、レーザーEXPO実行委員会、レーザー安全セミナー実行委員会、認定事業実行委員会、夏の展示会イベント実行委員会の活動結果、および次年度計画を確認する。レーザーEXPO実行委員会はレーザーEXPOおよびレーザー技術セミナーを、レーザー安全セミナー実行委員会はレーザー安全セミナーを、認定事業実行委員会はレーザー技術認定に関する講習会・試験と認定を、夏の展示会イベント実行委員会は講演会を企画・実施する。

2.6 学術講演会年次大会

第47回大会は、併設展示会”Laser Solution 2027”と併せ、2027年1月18日(月)～20日(水)に、ライトキューブ宇都宮(宇都宮市)にて開催する。魅力あるシンポジウムを企画し、会員の拡大にも繋げていく。

2.7 国際交流

Optics & Photonics International Congress(OPIC) 2026 はパシフィコ横浜にて開催される(2026年4月20日(月)～24日(金)). 18の専門会議が開催され, うち The 15th Advanced Lasers and Photon Sources Conference (ALPS2026)と The 8th Optical Wireless and Fiber Power Transmission Conference (OWPT2026) を弊会が主催する.

2.8 人材育成

レーザー技術の基盤の拡大と普及を目指して下記の活動を実施する.

(1) レーザー技術セミナー・講演会

“レーザーEXPO2026”に併設して, 2026年4月22日～24日にレーザーの基礎, 応用技術, および最新トピックスを網羅したレーザー技術セミナーを開催する.

2026年7月15～16日に開催される“光・レーザー関西 2026”において, 弊社主催の講演会を開催する.

(2) レーザー技術認定

“レーザーEXPO2026”において, 2026年4月22日に弊社主催のレーザー基本技術に関する講習会および試験を実施する. 合格者に「レーザー技術認定」の称号を授与する.

(3) レーザー安全セミナー

2026年11月10日～12日に開催される“Photonics Innovation”において, 弊社主催のレーザー安全セミナーを開催する. 修了者には学会より受講証を発行する.

(4) レーザー夏の学校(レーザー学会共主催, 日本光学会協賛)

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流, 研究意識向上を目的として, 当学会として教育及び学術交流の観点から本行事に支援を行う.

2.8 展示会

下記の展示会を開催する.

(1) レーザーEXPO 2026

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2026”をパシフィコ横浜展示ホール(横浜市)にて開催(2026年4月22日(水)～24日(金))する.

(2) Laser Solution 2027

第47回年次大会において, レーザー機器, 書籍等の展示会“Laser Solution 2027”を併催する.

2.9 表彰, 認定, 賞推薦・助成推薦

(1) 表彰

第50回レーザー学会賞(業績賞・論文賞, 業績賞・進歩賞, 奨励賞), 学術講演会第46回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を第54回定時社員総会にて行う. レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者を表彰する第18回レーザー学会産業賞の表彰を2026年4月23日(木)に“レーザーEXPO2026”会場にて行う.

(2) 賞推薦, 助成推薦

レーザー学会会員に各種学術賞, 研究助成案件を広く案内し, 研究業績から優れた成果を上げたと認められる方, および学会に対し貢献のあった方を, 学会として積極的に推薦していく.

2.10 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて, 国内6支部にて, 地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため, 単独および他学会支部との共催によるセミナー, 研究会, 講演会開催, 情報交換, 支部表彰等の活動を推進する.

2.11 関連学協会等との連携および協力

国内他学会, 研究団体および関連業界との共催, 協賛, 後援による研究会, 講演会等の開催を通じて, 関係団体との連携, 協力を推進する. ジョイントシンポジウムの取り組みは, 異分野の学協会にも拡げ積極的に進める.

なお, 感染症の流行などの不測の事態により上記活動の実施が難しくなった場合は, オンライン開催に切り替える, あるいは検討委員会等を立上げるなど, 柔軟な対応を図る.